

ロボット技術で
世界一働きやすい生産現場をつくる！

北九州発！

キックロボティクス

KiQ Robotics 株式会社



会社概要



滝本 隆 Takashi Takimoto

代表取締役 CEO

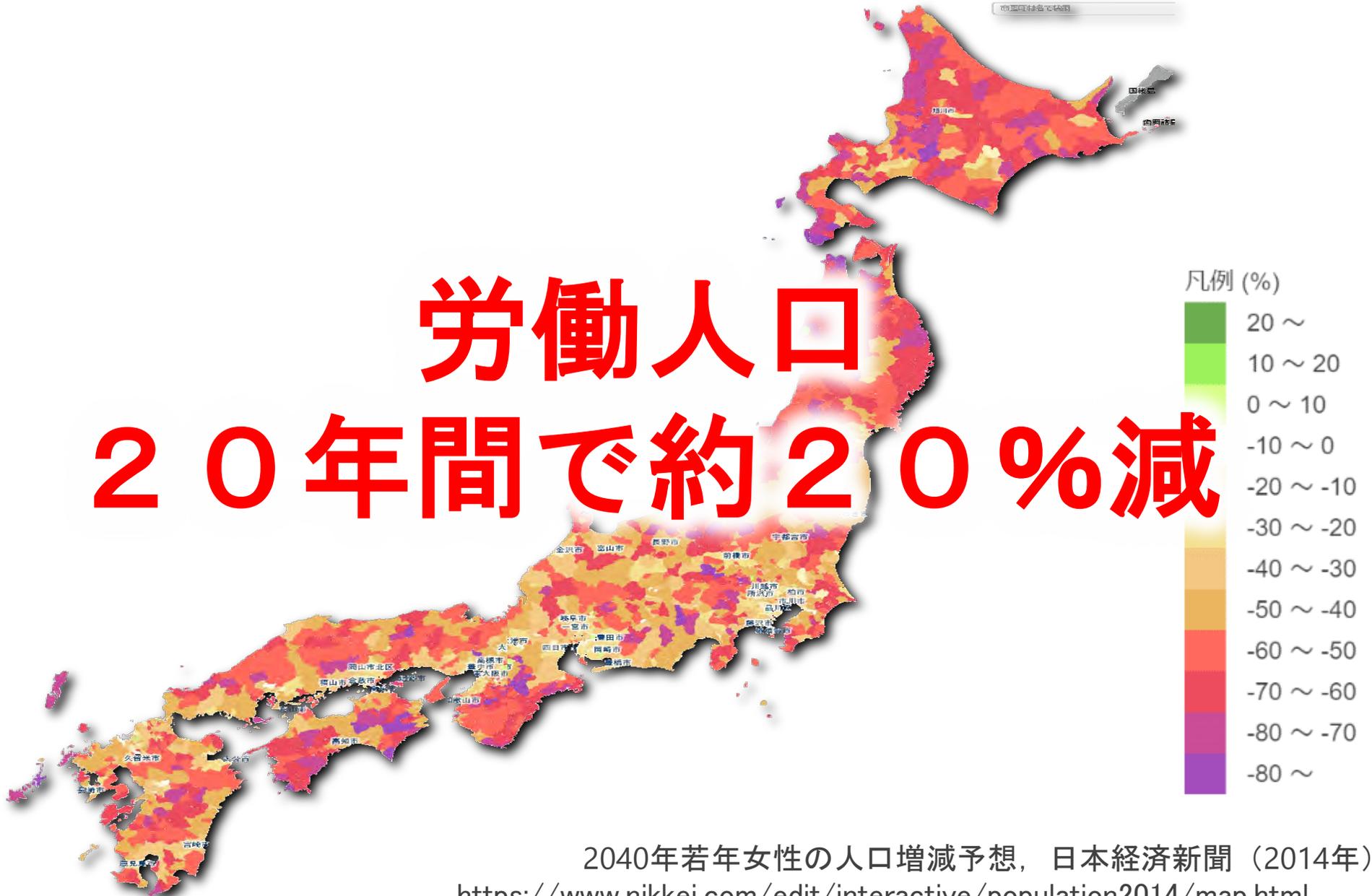
大阪大学大学院 博士後期課程 修了 博士（工学）

2010 北九州高等専門学校 生産デザイン工学科准教授

2012 合同会社 Next Technology 代表兼務（高専発ベンチャー）

2020 現職。同高専辞職後、特命教授を兼務

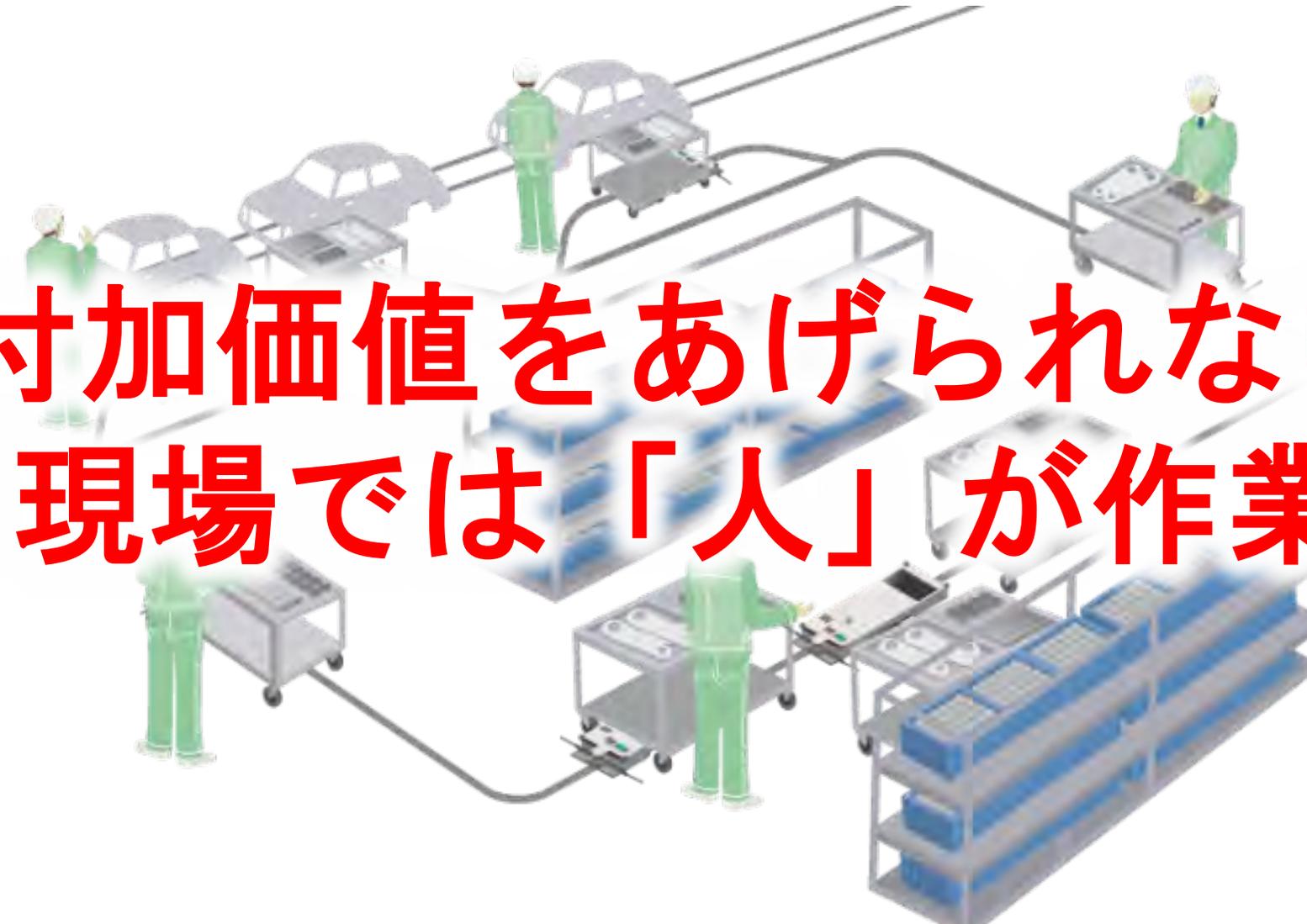
設立年月日	2019年4月25日
社員	役員3名、従業員4名
所在地	【本社】 北九州市小倉北区浅野3-8-1AIMビル6F （COMPASS小倉内） 【小倉 Lab】 北九州市小倉北区浅野一丁目3-1
資本金	8,800万円
業務内容	* 九工大西田健准教授（共同創業者）の研究成果活用企業 * 産業用ロボットのパッケージシステムの製造・販売 * ロボットハンド開発・製造・販売

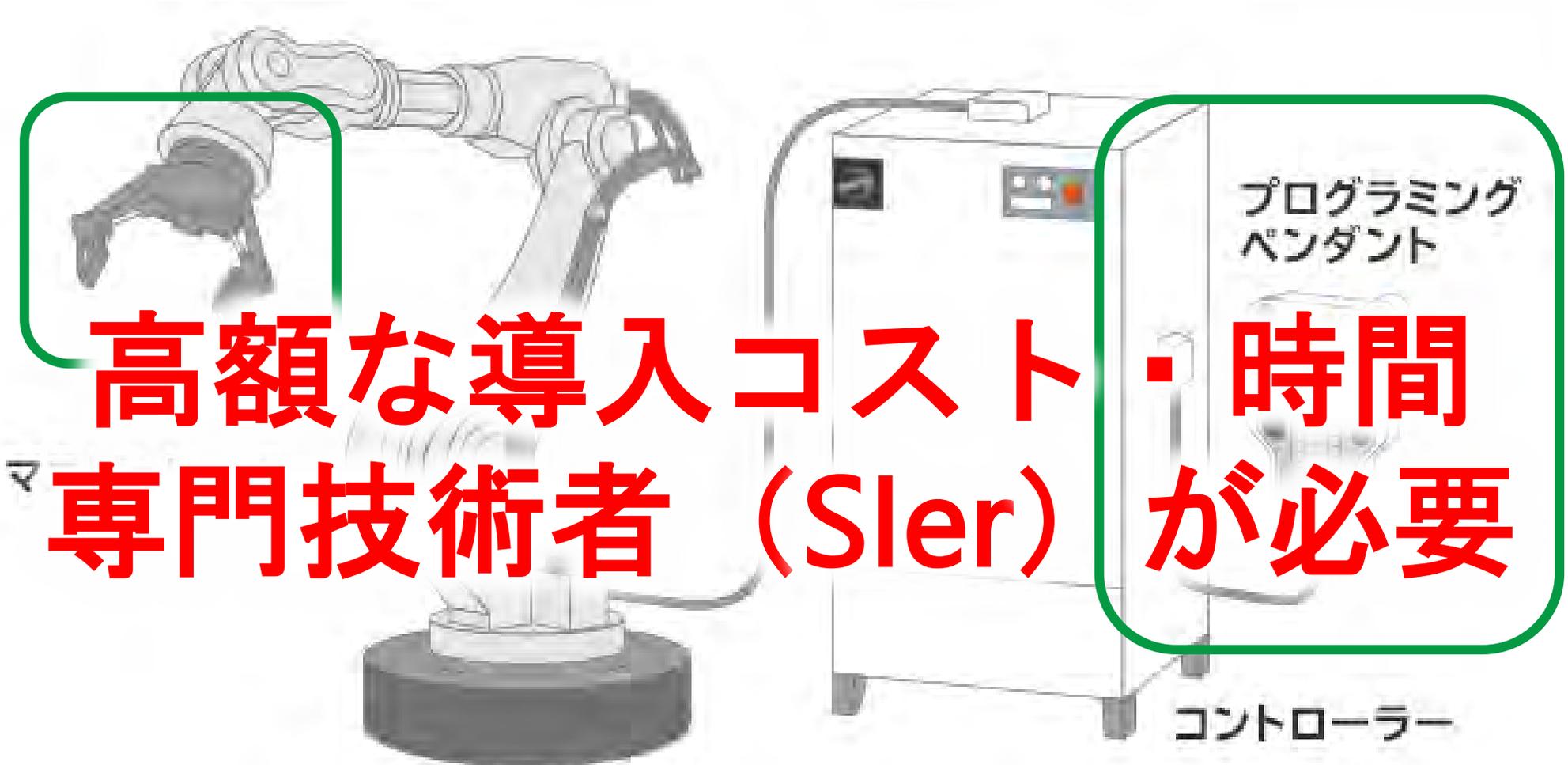


産業用ロボット等における自動化の現場

(例) バックヤード：自動化が進んでいる製造業でも部品のピッキングは手作業

付加価値をあげられない
現場では「人」が作業

An illustration of a factory backroom (warehouse) showing manual picking work. Several workers in green uniforms and white hard hats are operating a system of conveyor belts and carts. They are picking up blue boxes from a rack and placing them on a cart. The scene is set in a clean, industrial environment with a white floor and walls.



高額な導入コスト
専門技術者 (Sler) が必要

ハンド・ティーチング (動作プログラム)

(参考) 産業用ロボットの導入費用

例1) 工作機械への部品着脱

ロボット本体 300万円

ロボット関連装置
(架台、ハンド) 70万円

システムインテグレーション費 (設計、組立)

総額 690万円



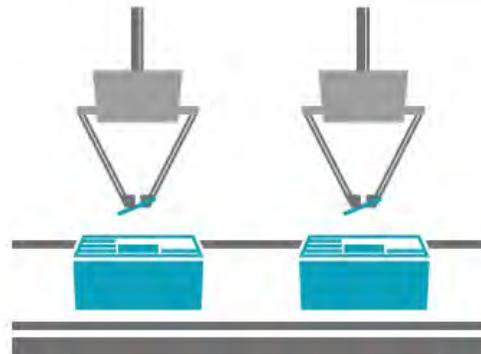
例2) 製品の検査

ロボット本体 2台 800万円

ロボット関連装置
(ハンド、カメラ) 400万円

システムインテグレーション費 (設計、組立)

総額 2,550万円



本体のコストは20%~30%に過ぎない



産業用ロボットを
「だれでも利用できる道具」に！

たった2枚の写真でロボットが動作します

「作業前の写真」と「作業後の写真」を登録するだけで、自動的にプログラミング。導入から運用まで、専門知識のない方でも簡単にロボットを活用できます。



Quick Factoryの利用シーン

工場・生産現場



部品の整列



機器への設置・取り出し



工具の片付け



箱詰め

一般企業・商店



片付け



料理配膳



洗濯物の投入・取出し

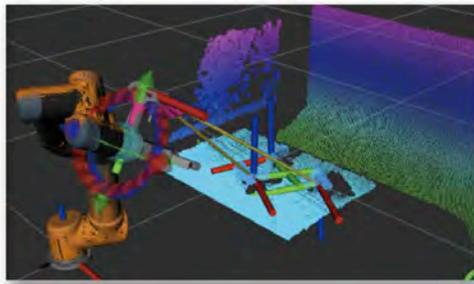


And more...

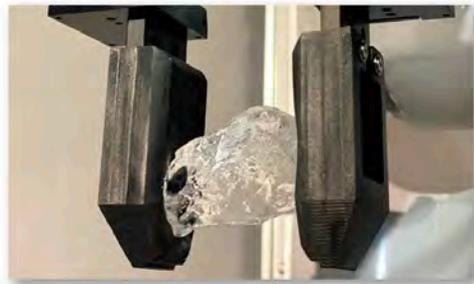
センサアプリ

3次元カメラによる認識、障害物判定機能。2枚の写真の作業指示等使いやすいUIを実装。

Sensor App



Soft Finger



柔軟指

指内部の3次元格子（ラティス）構造で柔らかさを実現。対象物を包み込んで把持する。



アクセラレーションプログラム (GAP-K) を通じて

- 事業計画支援、地域関連企業とのマッチング
- ブランディング
 - ブランドネーミングのサポート
 - ブランドロゴ制作
 - ブランドガイドライン
- ローンチ



誰でも、すぐに、工場を。



ランディングページ制作



2021年2月23日 日本経済新聞



ロボット未来都市を北九州から実現！

ROBOT
INNOVATION
CITY OF KITAKYUSHU